

## 事業名：障害者タクシー利用料金助成事業

福祉課 障がい福祉係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	04 障がい者福祉の充実								
基本事業	03 自立的な社会参加の促進								
開始年度	昭和60年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

## 事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・ 1、2級の身体障害者手帳所持者
- ・ A判定の療育手帳所持者
- ・ 1級の精神障害者保健福祉手帳所持者

手段（事務事業の内容、やり方）

年間最大24回分のタクシー普通車基本料金相当額のチケットを支給。  
チケットの支給には申請が必要で、在宅の市内居住者に限る。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

タクシー料金の一部を助成することにより、その生活圏の拡大と社会参加の促進を図る。

## 指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	1、2級の身体障害者手帳所持者・A判定の療育手帳所持者・1級の精神障害者保健福祉手帳所持者	人	3,324	3,341	3,405	3,341
対象指標2						
活動指標1	タクシーチケット交付延枚数	枚	36,570	37,410	36,660	39,514
活動指標2	タクシーチケット受給者数	人	1,588	1,619	1,609	1,718
成果指標1	タクシーチケット使用枚数	枚	24,197	24,543	24,526	24,875
成果指標2						
事業費(A)		千円	15,166	15,453	15,491	16,448
正職員人件費(B)		千円	1,605	1,603	1,953	1,565
総事業費(A+B)		千円	16,771	17,056	17,444	18,013

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	年間最大24回分のタクシー普通車基本料金相当額のチケットを交付	印刷製本費：395千円 扶助費：15,098千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
外出することが困難な障がい者に対し、タクシーチケットを交付することで社会参加を促進するために制度を開始した。	
事業を取り巻く環境変化	
障がい者の重度化・介護負担の増により社会的な入院や施設入所を志向数が増加。介護保険での外出支援等の新たなサービスの創出もあるが、一方で通常のタクシーを利用できない重度の障がい者も多数存在している。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
<input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 妥当性が低い	理由 根拠 バス等の公共交通機関を利用しづらい重度身体障がい者及び重度知的障がい者のタクシーを利用しての生活圏の拡大と外出の支援はその生活の質の向上に有効な手段と考えられる。また、平成21年度より、重度精神障がい者にも対象を拡大したことで、手帳による公共交通機関の割引制度が少ない精神障がい者にとって、外出の機会を増やすことにつながると考えられる。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
<input type="checkbox"/> 貢献度大きい <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう <input type="checkbox"/> 貢献度小さい <input type="checkbox"/> 基礎的事務事業	理由 根拠 外出支援の1つとなっているが、通院等への利用がほとんどと考えられ、社会参加支援として明確な位置づけが困難な面もある。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がらない	理由 根拠 重度障がい者（身体障害者手帳1、2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳1級所持者）の数は増加しており、通院を主として利用者は多くなっている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 社会参加の促進を目的としながら、実際は通院等の日常生活の外出支援となっており成果設定の困難性がある。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由 根拠 対象人数の増加に伴いコスト（予算、人件費）がかかるため、現在のところ難しい。